

2020(令和2)年度  
自 2019(令和2)年 4月 1日  
至 2020(令和3)年 3月31日

## 事業報告書

認定 特定非営利活動法人

北海道自由が丘学園・ともに人間教育をすすめる会

### 目次

- I. 総会に対する社員(含理事)名簿
- II. 事業報告書
  - 1. 事業状況～概要、経過
  - 2. 教育実践、諸活動
  - 3. 組織及び執行体制
  - 4. 庶務に関する事項
  - 5. 各事業～定款項目別
- III. 決算書
  - 1. 活動決算書
  - 2. 財産目録
  - 3. 貸借対照表及び当期収支差額の処分
- IV. 監事の意見書
- V. 役員／体制(社員名簿、2021(令和)年度事業方針・同予算)

## 1. 事業の状況

### 【概要】

1998年夕張レスカールの実践を受け'03年にNPO法人認証、以降は定款・設立趣意書に掲げた教育及び各分野活動を基本に、'07年度より新たな展開＝「既存学校法人との“協同＝教育連携”を開始（共育の森学園の再建支援）しました。また'09年度より地球温暖化に対応した《エコハウス》を推進し独自集会や他団体との共同企画を継続しています。

'10年度以降は実践を基盤に、'13年度/15周年行事・認定NPO法人取得、'14年/エコハウス道新エコ大賞奨励賞、'14-15年/『雪国札幌発ECO防災教室』実施&冊子発行、'17年度は20周年イベント・WAM助成フェスティバル事業「つきさっぽろ寺子屋」を展開、'18年度はスクール初等部拡充・WAM居場所事業継続に加え「自由な小学校運動」を各地集会で加速させ自治体交渉へ、'20はコロナ渦の中で基本となるスクールと居場所事業を持続してきました。年間の推移概要は以下の通り。

### 【第16年度の経過】

(敬称略)

令和2年(5月16日 令和元年度総会開催)

- 3/20 「卒業・修業のつどい」小2名、中8名卒業、多彩な生徒企画でもりあがる
- 4月 \*WAM助成「多様な子どもたちを真ん中に！みんなのお家、親子カフェ」事業採択  
4/8：スクール新学期（短縮11:00～15:00）、4/15：三角山登山 → 4/17～5/6：コロナのため休校
- 5月 連休明けから再開～週4日11:00-16:00の短縮、  
余市農業実習（余市教育福祉村/畑借用）5/13：畑起し5/19：苗植え \*（自由な小学校）現地体験中止  
「フロンティア254号」：代表理事・大塚 『子どもたちとともに「新型コロナ危機」から多くの学びを！』
- 6月 スクール：6/15から週5日登校にもどす、6/16 農業実習：草刈り、剪定、支柱立てなど  
6/30：特別行事（中学生はボドゲー+焼き肉、初等部は動物園）、6/23と7/3：文教大学生実習
- 7月 「フロンティア255号」：子育てネット代表・河野和枝 『子どもの声を聞くということ』  
7/15と7/16：特別行事（泊りなし）7/20：スクール終業+夏期講習
- 8月 \*8/8：WAM研修会、8/24：スクール2学期スタート、8/26：教育大札幌大学院生が訪問・ミニ交流
- 9月 「フロンティア256号」：法人理事（小学校をつくる会）・細田孝哉  
『「まおい学びのさと」体験会（8月8日）について』  
9/9：余市教育福祉村；収穫実践、9/16：北大植物園見学・学習  
\*（自由な小学校）現地「まおい学びのさと」NPO認可
- 10月 10/6-7：修学旅行、初等部は特別行事 \*さっぽろく子育て教育フェス今年度はオンラインで学習会  
「フロンティア257号」：教育大札幌・池田考司 『もう一つの（オルタナティブ）学校へ』
- 11月
- 12月 釧路教育大学実習中止の代わりに  
12/14-18：特別行事週～アウトドア・生徒授業・映画鑑賞・クリスマス企画など  
12/12：NPO理事会、12/22：スクール終業、冬期講習  
「フロンティア258号」：法人・吉野 『「民主主義と効率」、そして自由』
- 令和3年1月 \*1/9：WAM研修会、1/12：文教大学生レポート、1/20：スクール3学期スタート  
「フロンティア259号」：法人副代表理事・榎和光会長・田中傳右衛門  
『新型コロナ禍の厳しい経済状況を乗り越えて』
- 2月 2/15～19 学生実習：教育大札幌、\*「まおい学びのさと」体験会 \*年次説明会：1/30、2/27
- 3月 「フロンティア260号」：認定NPO法人・常勤理事会  
『「自由な小学校」認可申請の経過報告 ～コロナ禍、認可運動は更に継続展開です～』
- 3/20 「卒業・修業のつどい」小1名、中1名卒業、参加者限定、生徒企画が中心、3種のくす玉
- 4月 「フロンティア261号」：代表理事・大塚  
『北海道自由が丘学園の新年度スタート—今年も“子どもたちが主人公”を貫いて—』

## 2. 教育実践、諸活動

### [分掌、運営]

#### 1) 基本体制 \*別紙「カリキュラム」他

- ◎NPO 本体 常勤役員4名/吉野、大塚、廿日岩、(鈴木) 社員5名/北、滑川、奥村、尾田、川島、
- ◎スクール 学園長:大塚~常勤/フル3名、3日2名、2日2名、 \*2021年度より大塚はフル勤務。
- ◎GAOKA 塾 責任:大塚、滑川...現在:中学2名、高校1名、◎ボランティア学生/院生/社会人~主に初等部(有償型)

#### 2) カリキュラム&担当

- <学科> <総合型>
- ◎日本語:大塚(吉野) ◎英語:大塚 ◎地球に生きる科:大塚 ◎表現科+◎もの作り:北
  - ◎数 学:大塚(吉野) ◎理 科:大塚・滑川 ◎人間科:吉野+ゲスト/吉田他
  - ◎社 会:滑川/歴史他、 ◎体育 :全員 ◎やってみる科:滑川他 \*初等部:常勤/奥村・引木

#### 3) 学期(末)対応

- ・月次 学校:出欠案内。期末:通知表「成長の記録」:記述A4記述3~5枚。年度:「記念作品」制作など

#### 4) 付加、関連業務

- ◎IT~HP管理/北(山田) ・環境設定、パソコン保守:(アールズサポート/寺下)、機器更新:W-7.8.10+内部XP
- ◎事務所維持(清掃、台所、外周他) ・冬季対応~暖房/ペレットストーブ、水道(冬季)、省エネ/各階、除雪)
- ◎助成 1)札幌市:付加スタッフ・体験メニュー、2)サポートホト:(半額負担)、3)募金会:普及、4)WAM:居場所

### [普及、協同]

#### 1) 普及活動

- ◎普及全般 年次パンフ:「スクール」2種、「NPO」版+「GAOKA」チラシ~通信折込み・集会配布、休3店舗・エブリザ
- ◎相談会等 「月次」企画:ホームページ、建物掲示板など、チラシ~上記同様+地域連携団体
- ◎イベント ◆道民教:[札幌集会~個別対応]、(→以前は、不登校分科会・合研・親の会・\*コロナ渦)
- <外部> ◆さっぽろ子育て教育フェスタ:[毎年10月、実行委員/大塚+他、展示・分科会運営]→「報告集」
- ◆社会教育フォーラム:[(北大社会教育研究室) \*韓国ブルム学校接点、弘前大/宋他
- ◎通信発行 No.254-261号~年次8回、会員400名弱+エブリザ等配架、郵送/郵便局契約(値上+持込)+手渡し

#### 2) 大学、教育機関連携

- ◎実習受入れ ・釧路教育大/教育内容方法研究室:従来年4回⇒年1回12月。\*本年中止→札幌校池田研究室
- ・文教大/人間科学部:吉岡研究室、5-6月学生10名規模。・居場所「寺子屋」:学生複数名⇒本年なし
- ◎共育の森学園 吉野・田中理事、間宮理事長代行~継続中。高校生確保対策「+看護学校地域統合」(→市長接点)
- ・旧短大施設:図書館開放/毎週火水曜、施設貸出~体育館・IT教室・貸事務所/FM他、
- <政策テーマ>・自由が丘推薦~H25/3、H26、H27/1、H28/1、H29/1、H30/0、旧短大=2千坪施設活用法模索

#### 2) 他団体 [都度調整]

- NEPA 新エネルギー普及促進協会:「冊子」協力、NERC コンサル:Y相談役、
- 余市教育福祉村:農場利用・Y監事~今後の体制や利活用検討 \*「教育による地域活性の可能性」
- 地域自治体問題研究所:(河野理事長)Y理事、\*これらとの教育テーマでの講座・分科会企画模索

### [特記/再掲]【「エコハウス」の取り組み】 [再々掲]

2010:北海道「グリーン・ビズ事業所」認定、2012:札幌市環境賞「優秀賞」受賞、

2014:北海道新聞エコ大賞「奨励賞」受賞、\*[道環境教育学会~経由]月刊「工業教育3月号」寄稿

2014-15:さっぽろ発「ECO エネルギーで防災教室」11.2月2回実施、北大・天使大の教官協力

◆2011.3/11 原発事故以後、自然エネルギー導入が大事な社会テーマ。加えて脱原発は環境保全&地域再生の21世紀的課題。

・視点① 北海道の条件~一次産業・地域振興と結合したプロテクトへ ==> 自由が丘;都会での“先進基地”

・↓ ② 泊・大間原発~活断層・ブルマル・温排水・廃棄物+受入調査自治体 => 停止、廃棄への可能な接点・連携

◆自由が丘センターの現状 注:自家発電はまず建物消費 → 余剰分は売電(不足は買電:コープ電力切替)

・【ソーラーパネル】 ——> 小さいけれど市民発電所、電気約50-60%削減+省エネ/生徒パネ。ローン14年完済

・【ペレットストーブ】 ——> 冬季暖房の環境負荷低減中、バイオマス資源の地産地消推進 苫小牧・

\*トータルCO2約▲7.0%、引続き環境教育や地域開放=サテライト促進。~HP、市民講座、研究機関連携へ

・【照明LED化】 ——> 蛍光管約90%LED=従来機器寿命・省エネ⇒電気代△80%・15年保証・×虫・×破損

◇今後、将来展望 \*長野、宮城など各地取り組みあり \*夕張の土地/転用可能性...

- ・100%自然エネルギーの施設 ⇒ 追加的ソーラーパネル導入、雨水利用、(屋上)緑化、省エネ...
- ・暖房・発電の市民ファンド展開 ⇒ 市民からの基金蓄積→導入施設募集/教育文化団体→融資/回収

### 3. 組織及び運営・執行について

#### 〔概要〕

基本となる教育実践・普及・エコハウス推進、小樽の学校法人再建支援等により、自由が丘理念の具現化に努めてきました。通常は月寒スクールを基盤に、「子ども達が学び・成長する主体」の学び舎・運営を継続しながら、週末型の地域居場所＝寺子屋/お家・実家/カフェ展開も行いました。(初等部生徒増加中。居場所は各30回ほど開催)

普及活動ではコロナ渦で各種教育集会などの企画開催や参加を抑制しながらも、自由が丘の“創立時精神”再度掲げた『新たな小学校設立運動』を継続発信してきました。組織面では13年『認定NPO法人』認可5年後更新を18年達成、又助成事業による整備も持続中です。(他方、寄付特典/還付で財務プラス反映という大きな成果につなげる作業は先送り)

#### (1) 会員の推移

1)正会員：会費を、個人5,000円・団体50,000円納入。役員11(前年11)、社員7(〃7)、下記は納入者。

①役員：11名(監事含、過年納入含) ②社員：6名(一部3千円) ③法人：7団体/ 継続7団体

和光(2回)、秀岳荘(2回)、岡本建設、知床第一ホテル、幌村建設、佐々木総業、りんゆう観光、 小計20名・社

2)賛助会員：会費を、個人3,000円・法人30,000円納入 \*～前年は2)・212名、3)・29名。①～⑤計236名。

④個人： ⑤大口/赤塚、(河原)、弁護士事務所他、(株)新倉屋/2万、 小計194名・社、以上①-⑤合計：292名・社

3)寄金⑥ 会費3,000円に加算して納入：納入額+2000～7,000円以上なども相当数 小計：(79)名

\*現状は2)扱い、希望により1)の②へ転換。 ——> 財政「収支決算書」参照。21年度は5/6 現在～「39」名29万。

#### (2) 会員の構成、拡充

1)正会員 ・役員社員～元発起人、会員有志、理事紹介、スクールスタッフ等。

2)賛助 〃 ・通信購読～スクール父母、教育関係者等(居場所関係者)。\*他方、逝去や「高齢者」区切り申し出・

#### (3) 執行体制

◎役員(敬称略) ・代表理事 2名、理事9→9名、監事2→2名、内訳：代表/吉野・大塚、副代表/田中(非常勤)、  
・執行部：代表理事、分掌理事、常勤スタッフ、 : 監事/吉田・廿日岩、

◎基幹会議 ・勤務員会議：事務局メンバー週次 (常勤) スタッフ会議；月・金曜 月次スタッフ会議/月末  
・その他会議：学期区切り研修付加。ボランティア＝サポートスタッフとの情報共有。

### 4. 庶務に関する事項

1) 北海道庁(監督官庁)等への申請など

・2020年 5月、総会承認事項、所管/札幌市(＋登記手続きはなし)。認定NPO法人/別書類一式

2) 第1回理事会：2020年 5月16日開催(総会時)【出席】4+2名、スタッフ/社員同席

3) 第2回理事会：2020年12月 9日開催(研修兼)【出席】7+2名、スタッフ/社員同席

### 5. 各事業：定款活動分野による記載。(ほぼ重複)

第1/子ども・青年の教育機会提供・支援、第2/各種研修企画、第3/教育相談、第4/協同交流、第5/広報・出版活動。

#### 1) 学習活動への援助：各スクールの授業・行事の企画提案、運営、参加。

・スタッフ支援；教科担当など約3～5名分をサポート。主に初等部門。他に団体や集会講師対応等

・学生受入れ：釧路教育大実習～例年12月、今回中止(通算102回)、他大学等/北大・文教大・教育大札幌。

#### 2) 教育推進者支援：スタッフと役員など支援者・推進者向け研修。

・役員、スタッフ研修会開催；学期毎、(独自企画、外部企画参加)・理事会併催；新しい小学校運動

・(一般向け)教育研修開催；(教師塾～教育大/年1回)、寺子屋研修会/年1～2回、大学生・若手スタッフ対象

#### 3) 教育相談：月次案内、個別相談受け入れ。専門家連携。

・学期毎の案内、年次説明会開催；2.3月。月次相談会；各2回+体験会、個別；随時電話等の相談対応。

・案内、受付；月次/ホームページ、チラシ配布、建物掲示板 \*進路指導～高校情報(＋見学引率)

#### 4) 協同交流活動：他団体/集会の事務局対応・役員引受(＋独自企画)。

・民間教育集会の運営分担・レポート；札幌子育てフェスタ/実行委員(事務局)、月寒九条の会/世話人、つきさつぷP/バー

・民間組織連携；NPO余市教育福祉村/相談役、道地域自治体問題研究所/理事、共育の森学園/理事、

#### 5) 研究・講座等：(研究所包括テーマ)

・実践記録を通信等に紹介；教育大授業レポート、教育エッセ、発達支援報告、・独自企画：自然エネルギー普及「エコハウス」

・ブックレット：北海道発教育提言 No.1-11+「雪国ECO防災教室」。\*通信「巻頭言等編集＝普及用」検討

#### 6) 広報・他：

・「通信」定期発行：年次9-10回、活動支援グッズ＝物販、・ホームページ更新：新スタイル発信/父母協力実践ページ

・独自チラシ、パンフ等：年次作成、リーフレット配布/地域団体折込み、エルプラザ＝市民活動センター/常設。\*公的助成/市他

## 財産目録

2020(令和元-令和2)年度特定非営利活動に係わる事業会計財産目録

2021(令和3)年3月31日

認定 特定非営利活動法人  
北海道自由が丘学園・ともに人間教育をすすめる会  
単位:円

科目・摘要	決算額		備考
I 資産の部			
1 流動資産			
現金	156,076		
預金	3,235,897		北洋銀行 2,431,425、労金
流動資産計		3,391,973	3,093、郵貯銀行 801、379
2 固定資産			
備品等償却資産		155,000	
固定資産計		155,000	
資産合計			3,546,973
II 負債の部			
1 流動負債			
繰越収支差額			
前受金	921,000		
短期借入金	520,000		
出資信託金	890,000		
預り金	229,653		
流動負債計			2,560,653
2 固定負債			
固定負債計			
負債合計			2,560,653
差引正味財産			986,320

## 貸借対照表

2020 令和元-令和2)年度特定非営利活動に係わる事業会計財産目録

2021 (令和3)年3月31日

認定 特定非営利活動法人  
北海道自由が丘学園・ともに人間教育をすすめる会

単位:円

科目・摘要	決算額		備考
I 資産の部			
1 流動資産			
現金	156,076		
預金	3,235,897		北洋銀行 2,431,425、労金
流動資産計		3,391,973	3,093、郵貯銀行 801、379
2 固定資産			
備品等		155,000	ソーラーパネル
固定資産計		155,000	
資産合計			3,546,973
II 負債の部			
1 流動負債			
前受金	921,000		
短期借入金	520,000		
出資信託金	890,000		
預り金	229,653		
流動負債計			2,560,653
2 固定負債			
固定負債計			
負債合計			2,560,653
			(986,320)
III 正味財産の部			
前期繰越正味財産	294,937		
当期正味財産増加額	691,383		
正味財産合計			986,320

注:個別寄附(遺言分 50 万、ろうきん 16 万)あり、ほぼその分が財産増となった。

(事務所代 4-3 月分支払。昨年度は 12-3 月分研究所負担) 尚、短期借入は繰越とした。

### 3. 当期収支差額の処分

当期収支差額 986,320 円は、次期繰越とする。